

ノリ養殖環境速報 KH-05-05 (播磨灘)

令和5年12月8日 調査
 令和5年12月8日 発行

【概況と今後の動向見込み】

表層のDIN濃度は、東部、西部海域ともに概ね0~3 $\mu\text{mol/L}$ となっており、東部海域では前回に比べてやや減少しています。

大型珪藻のコスキノディスクスワイレシーは広い範囲で確認されるものの、東部海域を中心に全体的に減少傾向です。

今後の栄養塩濃度は現状維持か、まとまった降雨があれば増加すると考えられます。

- ・兵庫県の情報: <http://www.hyogo-suigi.jp/>
- ・岡山県の情報: <https://www.pref.okayama.jp/page/880806.html>
- ・香川県の情報: <https://www.pref.kagawa.lg.jp/suisanshiken/jyouhou.htm>

【次回】 令和5年12月19日発行予定
 【参考】 栄養塩の単位
 $\mu\text{mol/L} = \mu\text{g}\cdot\text{at/L} = \mu\text{M}$

【表層水温(°C)】

白浜以西: 13.3 ~ 14.3, 家島諸島周辺: 15.1 ~ 16.9, 江井ヶ島・高砂周辺: 14.4 ~ 16.2, 明石海峡付近・西浦: 16.3 ~ 16.9, 鹿ノ瀬周辺: 15.9 ~ 16.9



